

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール 製品づくり・利用部門
林野庁長官賞
株式会社 エスウッド

製品等の名称	岐阜県産材を活用した「エスウッド国産ストランドボード」
製品・取組の概要	岐阜県産のヒノキ・スギ間伐材を活用した「国産ストランドボード」の不燃材料の技術開発
製品開発のきっかけ	平成 11 年、間伐材（小径木）をプロダクトや建材へ有効利用するため、開発されたのがエスウッド国産ストランドボードである。従来より、輸入の構造用 OSB（オリエンテッド・ストランドボード）はあったが、単に製品の強度を求めるのではなく、表面の肌触りやヒノキ・スギの色味・香りを活かした内装仕上げ用の新しい木質チップ系ボードを開発した。 また、建築基準法に規制されている建物内の内装制限に対応するため、国内では初となるストランドボードの準不燃材料、不燃材料の技術開発に成功し、国土交通省より大臣認定も取得した。
製品の内容・特徴	エスウッド国産ストランドボードは、岐阜県産の他、東京、埼玉、千葉等他県産の間伐材を加工することが可能で、活用事例では小中学校や特別支援学校などの内装材として、子供達が住まう空間づくりに貢献している。さらに最近では、木質チップで表現された特徴的なやさしい意匠を評価いただき、商業施設、オフィス、ホテル等のデザイン性の高い空間づくりにも貢献している。不燃材料の認定を取得したことにより、国産ストランドボードの需要も拡がり、結果として間伐材の使用量も増加した。大学や研究機関の支援もいただくとともに、地元岐阜や愛知の加工業者の技術を活用しながら、地域で循環したモノづくりを実践した製品である。
間伐材の利用量	3 年前と比較し、原木ベースで約 20%使用量が増えた。 3 年前：26 年度 原木ベース 約 170m ³ 製品ベース 約 70m ³ 直近：29 年度 原木ベース 約 200m ³ 製品ベース 約 120m ³
取組による効果等	【京都外国語大学】では、天井箇所にてルーバー状にダイナミックに使用し、床や壁面が非木質素材であるものの、天井一面が「ストランドボード不燃タイプ」で仕上げられており、チップ柄を活かした特徴的な木質感を感じられる居心地の良い空間づくりに貢献している。 【岐阜市立図書館 みんなの森ぎふメディアコスモス】では、「ストランドボード準不燃タイプ」が家具や什器の素材として活用された。岐阜で大人気の図書館で、平日・土日関わらず、地元の小中高生が勉強したり、読書したり、大人から子供までの憩いの場としても活用されている。
製品等の写真、図表	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>納入事例：京都外国語大学 天井材</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>納入事例：岐阜市立図書館 家具・什器材 「みんなの森ぎふメディアコスモス」</p> </div> </div>
連絡先等	(住 所) 〒501-0108 岐阜県各務原市須衛町 7-74-5 (担当部署等) (電話番号等) TEL : 058-379-3023 FAX : 058-379-3024 (URL) http://s-wood.jp/

評価コメント	<ul style="list-style-type: none">○ 間伐材を無駄なく使い、また多様な室内環境に対応できる仕上がりになっている。環境教育にも貢献。○ ストランドウッドへのヒノキ・スギ間伐材を活用した点に注目。製品としての価値を高めており、普及が期待される。○ これまで構造用に使われてきた OSB を内装用として開発した視点は新しい。これからの可能性が期待される。
--------	---